THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



THE Y'S MEN'S CLUB OF

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

VAKANOSHMA

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)

国際会長主題: "Our Future Begins Today"「私たちの未来は、今日から始まる」

アジア会長主題: "Respect Y's Movement"「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事主題:ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を

中西部部長主題:世界をみつめ、地域とあゆむ クラブ会長主題:一響き合う心と心- さらに Monthly Bulletin

第239号

2016年12月

聖書のことば

まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。

(テモテへの手紙2章1節) 選者 渡辺 宏子

主首のことは

12月第1例会プログラム

日時: 2016年12月14日(水) 18:30~20:30

場所:ホテルグランヴィア大阪

司会 国友 朝子

1. 開会点鐘

杉浦眞喜子会長

2. ワイズソング

3. 聖句朗読

渡辺 宏子

4. ゲスト・ビジター紹介

杉浦眞喜子会長

5. 連絡・報告・ニュース

6. 食前感謝&食事

7. 卓話*「元禄―アジア・ヨーロッパの*

明暗を分けた瞬間」

中野 順哉さん

(作家・日本テレマン協会代表)

8. お誕生祝い

9. YMCA の歌

10. 閉会点鐘

杉浦眞喜子会長

例会当番(B)

受付当番(A)

中野 順哉 (なかの じゅんや) さんプロフィール

関西学院大学文学部仏文科卒業

作家 日本テレマン協会代表

在学中より日本テレマン協会の活動にライターとして参加。 1993年、同協会の季刊誌「ゲオルク」を立ち上げ1995年より編集長。2000年に「小説・延原武春」を出版。 現在、新潮45に「歴史再考」を連載中。

11月例会報告

いのちの電話の活動を通して

生雲 文枝

11月9日、ホテルグランヴィア大阪、21階にて第1例会は始まりました。



今回の卓話者は、社会福祉法人関西いのちの電話の稲垣昌子さんです。日本での電話相談の誕生は1953年、そして関西いのちの電話は1973年に開設されました。現在、全国に49センターがあり、相談員として約6,500名の方が携わっていらっしゃいます。直近の受信件

数は全国で約72万件、関西は24,147件、40代の方の相 談が一番多いそうです。

相談員にとって最も大切なことは相手の気持ちを理解し、相手のすべてを受け入れることであると話されました。また、電話相談のプラス面は相手からかかってくる電話のため、経済的であり、即時性もあるが、マイナス面は継続性がないこと、相手の依存度が強まることなどがあるそうです。

バブル崩壊の時期は、経済的に行き詰まった人々からの相談が多かったのですが、最近は心を病む人、うつ病を患った方からの頻回通話が増えている。引きこもりなど現代病の精神科医療のサポートというべき役割を果たされているそうです。最近の若者は就職内定がとれないとか、恋人からメールの返信が来ないとか、些細な出来事も気にかかり相談してくる、これは昔のように家族関係が密ではなく、相談する人が少なくなったからではないかと語られました。

〈次頁に続く〉

	11 月	統計
第1例会出席者数	例会出席率	B F 統 計
メンバー 15名 ビジター 4名 ゲスト 1名 コメット 1名 合 計 21名	出席者 15名 メイキャップ 1名 合 計 16名 在籍者 20名 出席率 80%	日本 45g 累計 2516g 外国 g 累計 95g 現金 円 累計 円 提供者: 今井、桑原、武井、吉田

ほんとうに人の話を聴ける者になるためには「心に傷の無い人は、人の痛みに鈍感」と言われる感性の問題と、違いを尊重する精神的な土壌を培うという努力のなされていることが、とても大切といえるのではないかという結びの言葉が /

心に残りました。

今宵は土佐堀チームの"クリスマス献金"のアピールもあり、年の瀬が近いことを肌で感じました。

部 会 参 加 報 告

びわこ部部会 10月8日(土) 琵琶湖汽船ビアンカ 今井 利子

天気予報で心配下が思わぬ「例会びより」に感謝しつつ、 すこし早すぎる到着だったが多くの Y's メン、メネットさん とご挨拶をしつつ開会を待つ。

12 時過ぎ琵琶湖汽船ビアンカ号で出港。すこし揺れる船の中、厳粛な顔で席に着く。でも、入会新しいという部長、経験豊かだが初めての司会と言うメンバーの「不慣れで、不慣れで」の連発に和やかな笑顔の輪は広がり、会は進行する。また、地震、大雨、昨日の阿蘇山の噴火までーそんな中でも九州部からは多くの役員さんが出席され感謝である。

岩本理事の「年の功の司会でなごやかさを」お褒めの言葉で始まる部会。年間目標「愛と奉仕、経験を深く、すべてでチャレンジ」など心強く挨拶された。YMCA 総主事は代理で祝辞を、メネットタイムで亀浦主任の熱い思いも語られた。また、デンマークから STEP の学生ランガード君 (20歳)、若いお客様が「ありがとう」と上手な日本語で感謝とお礼をのべられ、京都部の森田国際交流主任から、琵琶湖部の近江八幡クラブの北川主任にホストの引き継ぎ式も拍手で終わる。クラブ紹介を終わった頃、船は竹生島に着岸し第1部終了。

第2部は竹生島散策である。下船すぐ、宝厳寺ほか仰ぎ見られる。国宝有り、重文あり、西国三十三カ所 30番札所の霊場である。145名の出席者の自由行動で 150余段の厳しい階段を元気に登り、御利益を祈られた方も多かった。再乗船後、2室に分かれ第3部懇親会開始。アピールは国友さん中心に応援団も賑やかに、かなりの手応えが得られ、心も満たして琵琶湖を後にした。

瀬戸山陰部部会 10月15日(土)ピュアリティまきび 生雲 文枝

会場は岡山駅から歩いて7分の所と言われたのですが、到着するのに思ったより時間がかかってしまいました。

講演は「私の入所体験」と題して国立ハンセン病療養所邑 久光明園の入所者、山本さんが当時の苦しく差別的な入所体 験を話されました。「ハンセン病」はらい菌によって引き起こ される慢性の感染症で現在では抗生剤を中心とする治療法が 確立されており、完治する疾病ですが、当時は国の政策で療 養所に強制入園させられました。今では、以前の差別的な法 律は廃止され、新たに「ハンセン病問題の解決の促進に関す る法律」が施行されていますが、差別、偏見は未だに根強く 残っています。もっとハンセン病に対する正しい理解が必要 だと感じました。

場所が変わって懇親会では「野菜笛」の達人、小山さんが野菜で作った楽器で「コンドルは飛んでいく」など懐かしい曲を披露されました。You Tube で投稿動画が 1400 万回も再生されているのだそうです。ニンジンやネギなどが楽器になるなんてビックリです。岡山で沢山の友人と再会して楽しい時を過ごすことが出来ました。

西中国部部会 10月29日(土)岩国市いろり山賊 生雲 文枝

開催場所をネットで調べると「干と千尋の神隠し」の湯屋のようなお店とありました。確かに前庭に広島カープの優勝を祝してか沢山のこいのぼりが風にたなびき、山間の昔懐かしい雰囲気のレストランでした。

11 時より第1部、西中国部部会式典が始まりました。部長は高瀬期に事務局員を務められた佐竹さんです。力強く「西中国部100人達成」への思いを語られました。

2部は岩国みなみクラブ認証5周年記念式典です。第17 回西日本区大会はこの若手メンバー中心だったな、月日の経つには早いものだとしみじみ思いました。

第3部は祝賀会、高瀬実行委員長のチャリティーオークションが何とも豪華でした。獺祭など珍しい岩国のお酒が出品されて、紳士方がお札を片手に舞台下に猛ダッシュ、長蛇の列が出来ました。高瀬さんは時間がないといわれ早々と落札されたので、私はもう少し時間をかけたらもっと金額が……と思ってしまいました。集められたお金はメネット事業へ献金されました。なかのしまクラブからは藤井さんと私の2名が参加しました。

六甲部部会 11月12日(土)ラッセホール

吉田 由美

秋の恒例行事、各部会のトリを務める六甲部会が神戸元町のラッセホールにて開催されました。

他の部会案内は早い時期に配布され、各部が趣向を凝らしたプログラムで参加を募りますが、今回の六甲部会案内の連絡が有ったのは開催の1か月前でした。

部会のテーマは「我々の足元を着実に」〜8クラブの相互 交流で、各クラブが真に活性化する道を見出そう〜という内 容で、長井部長から「六甲部現状と将来」と題した報告が細 かい分析と共にあり、その後各クラブの活動説明と意見交換 が行われました。

通常の部会では自部以外からの参加者はお客様扱いをされますが、今回はホールの後方の席で六甲部内クラブの発表を聞く、という私にとっては初めての体験でした。



しかし、2時間余りに渡って行われたクラブ活動活性化シンポジウム・フォーラムは、他部にとっても必要な話し合いの内容となっており、イベントで終わらせている部会内容を再考する一石を投じたのではないかと思いました。長井部長の『このままではいけない!』という思い入れの詰まった部会は、帰路についてからも、「果たして、なかのしまに通用するかなあ……」などが私の頭の中を巡っておりました。

なかのしきの 20年

杉浦 眞喜子

6. 仲間を失った痛み

本コラム No.4 でも書きましたように、チャーター時から「ミャンマー支援」はクラブにとって大事な事業でしたが、初期の頃、真面目な私たちは侃侃諤諤「ミャンマー支援」について話合い、基本的な方針を決めていました。

それは、「一方的な経済支援ではなく交流とか友情とかを大事にしたい」ということ、またあくまでも「ミャンマーへの支援」であって、「山地さんの支援」ではないということも確認しあっていました。とは言うもの、実際には山地さんなくしては、なかのしまの「ミャンマー支援」は成り立たなかったのですが、暗黙の了解として上記の基本方針・確認事項は受け継がれて来たつもりでした。

しかし、新しいメンバーには必ずしもそのことが受け入れられてはいなかったのかもしれません。チャーター10年目ぐらいから少しずつほころびが出始めてきました。

2006 年暮れに CS 資金を頂いて実施した「支援物資をミャンマーに運ぶツアー」は、山地さんも含め8名のメンバーが参加しましたが、それぞれのメンバーが大きな収穫を得て帰ってくることのできたプログラムでした。特に初めてミャンマーを経験したメンバーにとってはミャンマーへの強い思いを持つ機会になったはずですし、山地さんのお働きを目の当たりにしてその素晴らしさに改めて気づかされた旅になったはずです。それと同時に何人かのメンバー、特に新しくメンバーになられた方の中に、これまでのなかのしまのやり方に疑問を持つ方が出てこられたようです。

「ミャンマー支援」のやり方に異議が出たり、山地さんのお仕事をもっと高く評価して支援すべきだとの意見が出たり。その度に第2例会で話し合いをしましたが、やっぱり上記の基本方針に帰ります。

その内「チャーターメンバーは、後から入って来た者の言うことに一切耳を貸さない」という不満が出てきたりしました。このように、クラブ内で少しギクシャクし出すと、ほんの些細なことで不満が出たり行き違いが起こったり、そしてお互いの信頼関係が崩れてきたりしました。

そして、一番熱心にファンド作りをし、ミャンマー支援にも関わって下さっていたメンバーがお辞めになってしまいました。それに続いて、何人かのメンバーも退会されました。

このことは、私たちの 20 年の歩みの中で消すことの出来ない大きな痛みとなっています。でもある程度は仕方がないことだったのかもしれません。ボランティア活動をやりたいとの強い思いを持って入られた方には、「ワイズの中での地域奉仕活動」としての私たちのやり方は、中途半端で生ぬるいものと思われたかもしれません。

ただそれでも……、やっぱり何とかできなかったのだろうか? と今も考え続けています。人と人との関わり合い、交わりを通して、一緒にやっていく、そんなワイズの楽しさ、良さにどうして気づいていただけなかったのだろうか? 私たちがそうであったように、「ワイズ大好き!」になって頂くために、何が足りなかったのだろうかと。

コメットに手を引かれて

武井 和子

健康で

格差が大きな社会問題になっている現代日本、憧れの国だったアメリカ合衆国も格差社会に陥り悩んでいると、大統領選挙戦でマスコミが伝えています。

今回コラムを6か月担当して、子供を育てる難しさや、親の姿勢などを改めて考えさせられました。家族とは?一つの屋根の下で共に住んでいる事でしょうか。死別、離別でいとも簡単に家族がバラバラになり、修復が困難な方や、諸事情で子供を施設に預けなければならない人、配偶者の暴力から逃れて、生活しなければならない方、複雑な時代に陥っています。そんな時代に生きている私達親子は、幸せですね。苦しみ、悩み、悲しみ、困難な事も乗り越える力を主は与えて下さっています。美帆はアトリエゆうハウスに喜び満ち溢れて出かけます。私の念願だったキリストを信じている方の施設に通園して、心から嬉しく感謝しています。中井聡子先生との出会いは、神様から与えられた美帆の惠です。

今期の例会卓話は、貧困、心の不安や社会問題に取り組でおられる方のお話しをお聞きしました。世の中は情緒不安……障害者施設での刺殺事件で、亡くなられた女性のお父さまが匿名で朝日新聞のインタビューに答えておられます。お母様が病気になられた時に「津久井やまゆり園」に入居され、その後お母様が亡くなられて、そのまま何年も入居されて、悲しい運命で命を奪われましたと。

江見さんが病床から、以前ブリテンに記載された「グループホーム世話人」体験記のコピーを送って下さいました。江見さんのような方が、グループホームのオーナであれば、「共に生きる」を実践することが可能だと、ゆうハウス代表の中井先生がおっしゃいました。悲しい事件や差別をしないためには、心温まるホームがあれば、私達はどんなにか平安を得ることが出来るでしょう! 4組位の親子で住み、さをり織や、音楽を聴き、楽しい共同生活が出来れば嬉しい、子供達はそれぞれの施設へ出かけお仕事をします。親の出来ないことは、ヘルパーさんの力を借ります。そんな理想を胸に秘めてこの原稿を書いています。

イエスさまは耐える事の出来ない試練はお与えにならない、必ず救いの道を示されると聖書に書かれています。 最後にわたしのこころの支えの聖句を書き、6か月のコラムを終わります。

「わたしが あなたがたを愛したように、 あなたがた も互いに愛し合いなさい。」(ヨハネによる福音書 13 章 34 節)

《《《 お知らせ 》》》

- ◎柿田貴志江さん(元メンバー)から郵送用切手を頂きました。感謝。
- ◎上好ますみさん(今井さん友人)から BF 使用済み切手を 頂きました。感謝。

◆12月お誕生日の方◇ Happy Birthday 藤好 基子 11日 大岸 弘子 13日

山佐亜津子 13日 藤井 弥生 28日

ニコニコ献金 11月 18,015円

〈ニコニコメッセージ〉 ― 11月例会 ―

- ☆緊張しながらでしたが楽しく過ごさせて頂きました。出会 (ゲストスピーカー: 稲垣昌子) いに感謝します。
- ☆久し振りに例会に参加させていただき、ありがとうござい ました。12 月4日のセンテニアルのクリスマス例会に是 非いらして下さい。(大阪センテニアルクラブ:大村 肇)
- ☆20 周年を超えて "なかのしま" さらに進め!

(大阪土佐堀クラブ:工藤義正)

☆いつもながら、明るく元気そうな空気の中で、気持ちのよ い時を楽しませていただきました。感謝です~~。

(大阪センテニアルクラブ:山田孝彦)

☆献金アピールさせて頂き、ありがとうございました。

(大阪西クラブ: 湯浅禎也)

- ☆全く姿の見えない人の言葉を聴き、相談を受けるという忍 耐の必要なボランティア活動を長年なさっている稲垣さん に頭の下がる思いがしました。
- ☆久し振りの江見さんの出席に賑やかにおしゃべり。ゲスト の稲垣先生とは古いお友達でご一緒に出席して下さった。 嬉しいことだと思います。お互いに分かり合うということ は大切なことです。いのちの電話の相手を分かってあげる
- ☆半年ぶりの例会です。毎月変わらず出席できるのは本当に 幸いなことですね。 (江見)
- ☆TV 朝ドラで、戦後の暮らしの様子が映し出されると懐か しく思います。うちの家族も食糧難時代 "さつまいも" を 植えに遠い畑に歩いて~。"いもほり"はきつかったけれ ど、収穫後に感激した。夕食は蒸しいもと茎でした。(大岸)
- ☆トランプ氏が大統領に。オバマの次がトランプですか!! ガラスの天井は高くて硬かった。ヒラリーが嫌いというよ り白人男性には女性候補拒否感が高かったのではないかと、 私なりの感想ですが。死ぬまでにマダムプレジデントを見 てみたいよ。 (国友)
- ☆今日は久し振りに江見さんが出席して下さってうれしい例 会になりました。稲垣さんのお話、とっても楽しみです。 (杉浦)
- ☆うれしいこと。やっぱり皆様とお目にかかり、楽しい一時 を過ごすことです。
- ☆今週は忙しい毎日でした。孫が風邪をこじらせて入院しま した。手伝いに行ったり、その合間にジャム作りに参加し たり、ゆうハウスへ美帆を連れて、さをり織に行ったり六 甲部部会に出席しました。 ウーン疲れた! (武井和子)
- ☆江見さんにあえて、とてもうれしいです。 (武井美帆)
- ☆美しい季節がやってきました。江見さんの美しい笑顔にお 会いできて、イヤ〜な気分もふっとびました。
- ☆土佐堀カーニバル、第一例会でお元気ないつもの笑顔の江 見さんにお会いできてうれしかったです。
- ☆義母の三回忌で上京します。その後、同級生宅に2泊して 友情を深める一人旅になる予定。今から「楽しみ」って、 義母に申し訳ないかしら? お義母さまのおかげと思って
- ☆また 11 月をむかえます。11 月は思いの多い月です。今 日のように急に寒くなるし、何となくさみしいですね。で もここは温かい場所ですね。 (保田)

- ☆たくさんの方々のご努力で、とさぼりカーニバルは今年も 盛況となりました。この様々な人とグループが一体となる 大行事、毎年やっても感動と感謝です。
- ☆紅葉の良い季節ですが、朝夕寒くなるのは厭ですね。風邪 ひきには注意しよう! (吉岡)
- ☆11 月の最初の週末、栃木県那須高原にある障害者施設 マ・メゾン光星に、高丸ホットシスターズでコンサートに 行ってきました。今回で7回目です。素晴らしい紅葉と入 所者さん達の温かい心に触れて、気持ちまでほっこりしま した。 (吉田)

欠席者メッセージ

- ★11月の例会は出席できず残念でした。11月になり急に肌 寒くなりましたので、今は素敵なさをり織のスヌードが大 活躍です。 (大橋)
- ★友達から送られてくる紅葉の写真は、どれも綺麗。特に天 王山、慶應日吉の銀杏並木は素晴らしい! (桑原)

11月第2例会報告抄

日時:2016年11月16日(水)18;30~20:30

場所: 大阪 YMCA 504 号室

出席者:14名

例会に先立って、大阪 YMCA 「国際学校ファンドレイ ジング」についてのアピールが山佐さんからあった。

- 1. 土佐堀カーニバルの評価・反省について話し合い、併 せて評価会での話し合いについての報告を受けた。
- 2. 12月2日に行われる、土佐堀「クリスマスチャリテ ィーコンサート」の詳細案内があった。
- 4. 第2回東西交流会について、周年会との兼合いで多く は参加出来ないが、可能な人2、3人は参加することを 確認した。
- 5.「20周年記念祝会」について詳細を話し合った。

YMCA ニュース

☆第 284 回 早天祈祷会

日時: 2016年12月16日(金)7:30~8:30

証 し: 武久 盾さん(日本基督教団東梅田教会 伝道師)

場所:大阪YMCA会館 10階チャペル

★土佐堀YMCAクリスマスチャリティーコンサート

日時:2016年12月2日(金)18:30 開演

場所:大阪YMCA会館10階チャペル

入場料: 1,000円(ワンドリンク付き) コンサートの収益金はク リスマス献金にささげます。

出演:Osaka Men's Chorus

お問合せ:06-7711-0080

(大阪YMCA英語幼児園土佐堀園:林まで)

季節はあっという間に秋から冬になりましたね。朝の冷たい風が 頬にあたると身が引き締まります。今年もまた家族や仲間、みんな でクリスマスをお祝いし、新たな年を迎えましょう。 大橋昌美

<u>編集後記</u>

私のマンションでは、近隣に住む野良猫には餌を与えない ようにというお触れが出ている。寒い戸外で一生懸命生きて いる動物を助けるのはいけないことなのでしょうか。